

E hana mua a pa`a ke kahua mamua o ke a`o ana aku ia ha`i

夫 明美

平成 25 年に入っても厳しい寒さが続いています。テストシーズンも近づき、学生の間にも緊張感が漂っています。体調に気をつけて日頃の成果を発揮してくれることを期待する時期でもあります。

昨年末、芸能の分野で大輪の花を咲かせた方々の訃報が相次ぎました。その中でも歌舞伎役者であった十八代目中村勘三郎さん死去のニュースは特に大きく取り扱われており、生前に氏が人々に敬愛されていた様子が印象的でした。

かく言う私も、氏がつとめる舞台を見るために劇場に足を運んだ一人です。古典的な演目から若手劇作家による新作歌舞伎まで幅広い演目を披露してくれるのを、楽しみにしていたものです。いつ観劇しても感じ入ったのは「彼自身が歌舞伎・舞台を、またそれに関わるひとりひとり」をととても大切に心から愛している様子が、舞台上の演技から伝わってきたことでした。そのエネルギーが原動力となって、舞台に取り組むチーム全体の士気があがり、舞台がますます熱を帯び、その熱が観客をも包みこんで劇場が一体になる雰囲気にならなりました。2010 年に大阪城西の丸庭園に中村座という芝居小屋を建てて 2 カ月連続で公演を行った際は、秋の大阪城も舞台背景に取り込み、まるで 1 枚の絵のようでした。

時には前衛的すぎる演目や演出で手厳しい批判を受けることもあった氏がよく口にしておられた言葉を紹介します。教育に携わる私たちの琴線にもふれるものがあるのではないかと思います。「型があるから型破り、型がなければ型なしよ」というものです。彼自身が「型」を大切に、そこからの発展を常に目指していたことを端的に表す言葉ではないでしょうか。担当する教科を通じて、学生に付けたい力とは何か？教科を超えた学級運営や学校教育を通じて学生に育成した力とは何か？いずれも慎重さや根気を要しますし、地道な「基盤づくり」からの「発展的学習」は、日頃の授業でも最も重要視されることがらではないかと思います。

今回のタイトルもハワイ語の格言より採用しています。私が教職について間もないころ、留学時代の恩師が授けて下さったもので、勘三郎氏の言葉と重なることも多いかと思います。

E hana mua a pa`a ke kahua mamua o ke a`o ana aku ia ha`i

Build yourself a firm foundation before teaching others.

参考文献

Pukui, M. (1983). *ʻŌlelo No`eau*. Bishop Museum Press.